


研修カリキュラム（イメージ図）

本研修のねらい

品質・生産性の向上⇒「良いモノ・人の流れ」をつくる
⇒「良いモノ・人の流れ」づくりを率先して
実践できる人財の育成

【実践に必要な力】

- 第1ステージ ①「モノ・人の流れ」を従来の考え方に捕らわれず見る力
- 第2ステージ ②「モノ・人の流れ」の全体像を俯瞰する力
- 第3ステージ ③「モノ・人の流れ」を感じとる力
- 第4ステージ ④「モノ・人の流れ」の改善を**実践できる力**
- ⑤「モノ・人の流れ」の改善プロセスを**標準化につなげる力**
- ⑥「モノ・人の流れ」の改善プロセスを**プレゼンできる力**
- 

4つの視点

「良いモノ・人の流れ」を阻害する要因は
「設備」と「人の作業動作」の中に隠れている！

4つの目でみよう！

「鳥の目」「魚の目」「コウモリの目」「虫の目」



- 「虫の目」…詳細な部分を見る目 細かく見る目、現場の視点
- 「鳥の目」…全体を俯瞰する目 マネジメントの視点
- 「魚の目」…流れを感じとる目 流れを阻害する要因の排除
- 「コウモリの目」…別の側面を見る目 物事を反対から見たり、従来の見方に捉われず、固定概念を取り払ってみる。常識を疑う

講師

◆主任講師 棚邊 一雄（M&P研究所 代表）

1970年アイシン精機(株)に入社後、1972年アイシン軽金属(株)に転籍し、生産技術部門、TQC部門に従事。ダイカスト工場長、常務取締役、専務取締役を歴任後、グループ会社の社長に就任。退任後は、M&P研究所を設立し、中小企業の改善、ものづくり支援に関する指導・コンサルティングに従事。東京大学ものづくりインストラクター(R)としても活動中。

◆主任講師 竹村 稔（M&P研究所とやま 所長）

1977年アイシン軽金属(株)入社。TQC・PM推進部門に従事した後、機械加工工場長、生産管理部長、米国法人会社アイシン・ライト・メタルズ社長などを歴任。退社後は、M&P研究所とやまを設立し、「品質管理」「生産現場の問題解決」など公開講座の講師や、中小企業の管理改善・人材育成にむけた取り組みの支援を行っている。

◆外部講師 熊原 徹司（ヒューマンズコンサルティング(株) 代表取締役）※ 屋外研修「歩行ラリー」担当

(株)資生堂、SMBCコンサルティング(株)を経てヒューマンズコンサルティング(株)を設立。中小企業診断士。人事制度策定、教育体系構築及び企画、各種人事マニュアル作成から研修プログラムの開発実施に努めている。2009年から組織活性化研修として有名な「歩行ラリー」の教育内容、進め方等を研究し、コース設計会場は15カ所を越え、その経験数は日本トップレベルである。現場の管理者を対象とした3現実践能力の向上をねらいに活躍している。

◆外部講師 高木 美作恵（クリエイティブ マインド 代表）※「QC的な考え方と問題解決の進め方」担当

1974年シャープ(株)入社後、海外事業本部から品質保証部門へ異動。以降、品質管理、品質保証、顧客満足(CS)戦略、人材育成、標準化など、品質に関する幅広い業務を歴任。特にグローバル品質戦略室では、部長として国内外の品質戦略、人材育成、ISO事務局などを統括。2014年にシャープを退職後、個人事務所クリエイティブ マインドを設立。現在は日本科学技術連盟嘱託、日本規格協会講師として活躍している。

◆現場実習講師

品質管理部門、製造部門の責任者として第一線で活躍している経験豊富な県内企業の経営者・管理者

【過去の研修状況】

